

感 激 の 対 面

故中原海曹の父孫二郎氏と 「序 舎 祝 賀 飛 行」

昭和三十六年十二月九日町役場
市長室被賀会のおりに、鹿屋航空隊の戦闘機が敵機編隊祝賀飛行を行いましたが、編隊のうち一機が機関の故障で墜落炎上して、乗組員藤崎哲也一等海曹、中原賢三二等海曹が殉死されたことは私たちの記憶にあらたなものがあります。その後昭和三十七年に町慰靈塔が建立されるや、この二名の殉職者も合祀して毎年慰靈祭がとり行われていることはご承知のことです。

この度故中原賢三海曹の実父中原孫二郎氏がはるばる長崎県壱岐対島の郷里から来町して慰靈塔に